

グランシップ伝統芸能シリーズ

ユネスコ無形文化遺産

人形浄瑠璃

文楽

昼の部

「二人三番叟」

えほんたいこうき

「絵本太功記」

ゆうがおだん
夕顔棚の段
あまがさき
尼ヶ崎の段



主殺しの苦悩や家族との葛藤を描いた
悲しく切ない物語

夕の部

「近頃河原の達引」

ちかごろかわら たてひき
しじょうがわら だん ほりかわさるまわ
四条河原の段
堀川猿廻しの段



夕の部限定!

文楽大好き!

大阪市出身SPAC俳優

たきいみきさんと一緒に
文楽を見に行こう!

- プレトーク/15:45~16:30
- 夕の部鑑賞/17:00~19:15

開演前、休憩時に
中ホール2階ホワイエで
日本茶インストラクターによる
呈茶サービスあり

- 15:45~17:00
- 17:40~17:55

開演前、ロビーにて
文楽人形がお客をお迎えします!

昼の部 12:30~12:55
夕の部 16:30~16:55

お着物で
ご来場の方に
先着で
プレゼントを
ご用意!

《全席指定》1階席 3,800円
 こども・学生 1,000円
 昼夕通し券 6,840円 2階席 2,000円

グランシップ友の会先行販売: 7/7(日)~7/13(土)
一般発売: 7/14(日)~

※未就学児入場不可、こども・学生は28歳以下の学生
 ※2階席は舞台を上から見下ろすため、人形や舞台の一部が見えにくい場合があります
 ※公演日1週間前に残席がある場合、定価より2割引になります(こども・学生、通し券を除く)
 ※「静岡県高校生アートラリー」ポイント対象事業
 ※グランシップ友の会会員特典対象事業

チケット販売
お問い合わせ

グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000 (10:00~18:00/休館日を除く)

コンビニ引取手数料無料

※グランシップホームページからは空席状況に応じて好きな席を選んで購入できます。(昼夕通し券もWEB予約をご利用いただけます)

<https://www.granship.or.jp/>



2024年 10月12日 土

昼の部 13:00開演 (15:25終演予定)
夕の部 17:00開演 (19:15終演予定)

※開場は開演の30分前

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県、公益財団法人文楽協会
 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会/朝日新聞文化財団
 後援:静岡県教育委員会、静岡市教育委員会



ユネスコ無形文化遺産であり、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。江戸時代の大阪で生まれ、浄瑠璃と人形芝居が結びついてきた文楽は、太夫・三味線・人形遣いの三業が互いに息を合わせ、三位一体で創り上げられる舞台。太夫が物語を語り、三味線の豊かな音色が情景や心情を表現し、3人の人形遣いが操る人形が命を持つようにいきいきと演技すること、人々の心を動かす世界的にも珍しい舞台芸術。グランシップでは県内で唯一の文楽鑑賞の機会として、毎年開催しています。昼の部は、豊臣秀吉の生涯を描いた読本「絵本太閤記」から着想され、秀吉の忠君・光秀の主殺しの苦悩や家族との葛藤を描いた時代物。夕の部は、遊女・おしゅんと井筒屋の跡取り息子・伝兵衛の心中物語。各回、上演前のあらすじ解説もありますので、初めての方もお気軽に。

昼の部

二人三番叟

能で特に神聖視される「翁」を義太夫節に移し、慶事に上演される『寿式三番叟』。その中から、二人の三番叟の舞を独立させました。義太夫節 絵本太閤記 夕顔棚の段 尼ヶ崎の段

明智光秀が京都の本能寺に宿泊中の織田信長を滅ぼした「本能寺の変(1582)」を題材とする時代物で、寛政11年(1799)、大阪の道頓堀若太夫芝居で初演。当時刊行中の読本「絵本太閤記」の人氣を受けて、近松やなまほかが合作し、発端に、1日を1段として、光秀が謀反を決意する6月1日から命を落とす13日までの13段が続く構成になっています。

忠臣光秀は、「鬼の再来」と恐れられる主君春長の悪逆を謀めて度重なる屈辱的な仕打ちを受け、6月2日、ついに本能寺を襲撃。光秀にとっては万民を救うための天誅でしたが、母さつきは、主殺しなど断じて許せず、6日、逆賊との同居は汚らわしいと、ひとり京を去り、尼ヶ崎へ。謀反を知り、急遽、備中から軍勢を率いて都へと引き返す久吉。尼ヶ崎の近くで待ち受ける光秀

夕の部

近頃河原の達引 四条河原の段 堀川猿廻しの段

京の二条河原での心中(1702)で知られたおしゅん・伝兵衛に、四条河原での刃傷沙汰と、貧しい猿廻しが親孝行で褒賞されたことを絡めたとされる、三巻の世話物で、眼目は中の巻の「堀川猿廻し」。気はやさしくして臆病者、文字は読めなくとも誠実に生きる猿廻しの与次郎を中心に、その日暮らしの貧しい中、互いに思いやる家族と、その別れを描いています。天明2年(1782)、江戸の外記で初演され、好評を博したこの段は、大阪で上演されたある時代の猿廻しのくだりをもとにしたものですが、作者、成立等、作品全体についての確かなことはよくわかりません。大名の御用を勤める伝兵衛は、相思相愛の祇園の遊女おしゅんに横恋慕した出入先の侍を殺してしまい、お尋ね者に。おしゅんの兄、猿廻しの与次郎は、目の見えない、病身の老母を大切に世話する孝行息子。伝兵衛

ならではの力強い響き。人形の躍動的な舞。足遣いの踏む足拍子と三番叟が振る鈴の音も心地よい、熱気あふれる舞台です。

勢、10日、さつきのもとを訪れたのは、光秀の妻操と息子十次郎、その許嫁の初菊。そして、宿を乞う旅僧も。その正体を久吉と察し、様子をつかろうと光秀に気づく老母。

討ち死覚悟の十次郎が、悲しみを胸に初菊との祝言をあげ、出陣したあと、旅僧は、さつきに勧められ、風呂へ。外から竹槍で突く光秀。ところが、中に入れたのは母。主殺しの罪深さを思い知らせるため、わざと息子の手にかけたのです。そこへ味方の敗北を告げに戻った十次郎は、絶命寸前。一夜も添うことなく夫と死に別れる初菊。我が子を失う操、二人の慟哭…。光秀は、涙も束の間、天王山の決戦を久吉と約束するのだった。兵庫県尼崎市を舞台とする「尼ヶ崎」は、天下のための拳兵が家族に悲劇をもたらし、光秀の苦悩と悲しみが胸に迫る、全編の山場です。

昼の部

二人三番叟

解説(あらすじを中心) 竹本聖太夫

三番叟 豊竹巨太夫 三番叟 吉田文勢
三番叟 竹本頼太夫 三番叟 吉田玉
豊竹清太夫 豊竹清太夫 豊竹清太夫
鶴澤清二方 鶴澤清二方 鶴澤清二方

夕顔棚の段 豊竹希太夫 母さつき 桐竹壽
鶴澤清 廬 妻初菊 吉田一勘
前 豊竹呂勢太夫 雛 雛 雛
鶴澤清 治 武智光秀 桐竹玉十
豊竹呂太夫改め 軍百兵 姓 大田玉十
鶴澤清 介 兵 姓 大田玉十

夕の部

近頃河原の達引

解説(あらすじを中心) 豊竹薫太夫

四条河原の段 伝兵衛 豊竹陸太夫 横瀬官左衛門 吉
官左衛門 官左衛門 小住太夫 仲買勘藏 桐竹
勘藏 勘藏 勘藏 勘藏 勘藏 勘藏
久八 竹本聖太夫 仲買勘藏 桐竹
野澤碩太夫 野澤碩太夫 野澤碩太夫
堀川猿廻しの段 切 豊竹千歳太夫 猿廻しと次郎 大豊
切 豊竹富助 娘おしゅん 大豊
ツレ 鶴澤清二方 大豊 松田玉次
ツレ 竹本銀太夫 公助 松田玉次
切 竹本銀太夫 公助 松田玉次
ツレ 鶴澤清二方 公助 松田玉次

この関係で店からひそかに実家に戻された妹のことも、心配でなりません。母もまた同じ思い。伝兵衛が心中しに来たら…。二人は、おしゅんを死なせまいと、伝兵衛への離縁状を書かせ、安心。その夜、現れた伝兵衛に妹の手紙を突きつける。与次郎。ところが、それは母と兄に宛てた書置きでした。あくまでも伝兵衛と死ぬ覚悟のおしゅん。残された家族の嘆きを思い、一人で死のうとする伝兵衛。けれども、大事な夫を見捨てては、女の道が立たないし、おしゅんは聞き入れません。その思いに心動かされ、母は娘を伝兵衛と行かせすることに。与次郎はめでたい猿廻しで二人を送り出すのでした。

「そりや聞こえませぬ伝兵衛さん」に始まるおしゅんのクドキや、悲しみの漂う猿廻し(華やかな旋律に乗せて、人形遣いが左右の手で一体ずつ猿を遣います)で有名な、人気演目です。

「文楽」って何?日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」の魅力、世界の他の人形劇と何が違うの?たきいみきさんはなぜ文楽が好きなの?グランシップ館長・宮城聡が、文楽発祥の地・大阪市出身のたきいみきさんに迫ります!クロストークの後は、たきいさん、宮城館長とともに文楽を鑑賞しましょう。はじめての文楽にもおすすめ!

文楽限定グッズ
公演当日、会場内では文楽グッズや公演パンフレットを販売。人気の「文楽せんべい」をはじめ、オリジナルグッズをぜひお土産にどうぞ。

文楽大好き!
大阪市出身SPAC俳優 **たきいみきさんと一緒に文楽を見に行こう!**

チケット発売中
10/12(土) プレートク/15:45~16:30
夕の部鑑賞/17:00~19:15(16:30開場)
プレートク会場 グランシップ 2階映像ホール
プレートク 1,500円
夕の部チケット代 3,800円 計5,300円
*事前申込制、当日支払(チケットは当日お渡しいたします)

【申込方法】
右記QRコードよりお申込みください。

【託児案内】
託児サービス(無料、2歳以上の未就学児に限る)をご利用の方は、公演2週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。
車椅子でご来場の方は、公演前日までにご連絡ください。
【託児サービス及び車椅子での来場のお問い合わせ】(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL.054-203-5714

交通アクセス
・JR東静岡駅南口隣接
・静岡鉄道長沼駅徒歩10分
・東海道新幹線(ひかり)で東京、名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
・車では、東名高速道路静岡I.C.から20分、日本平久能山スマートI.C.から10分。新東名高速道路新静岡I.C.から10分。静岡バイパス千代田上土I.C.から10分。

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
ホームページ <https://www.granship.or.jp/>

芸術祭

